

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム わかば

作成日: 平成28年11月15日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災計画は病院全体でマニュアルが作成されているが、ホーム独自の自然災害(地震、風水害等)に対する具体的計画作成がない。災害時に即応した計画作成の必要がある。	病院全体のマニュアルをふまえて、認知症に対応した災害計画を立てる。	・ハザードマップを市からもらい、安全区域の確認を行う。 ・避難場所を家族へ知らせる ・非常持ち出し袋、非常食の準備をする	12ヶ月
2	45	脱衣場と浴室の入り口が狭く、重度者の車椅子等利用した浴室での支援が難しい状況となっている。また職員にも過度の負担がかかっている。	重度者も使いやすい風呂を目指す。	どのようにして入浴を行うか手順の確認。道具等を使って安全にできるか検証の上、理事長に進言し検討してもらう。	6ヶ月
3	4	回を重ねる毎に会議内容がマンネリ化している。講師依頼等、外部の力を借りる事での活性化も検討できるのではないか。	会議内容の脱マンネリ化。	年に何回か外部から講師を招いたり、開催時期に合わせた議題で内容を考える。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。